

事業概要説明シート

事務事業番号 31039

事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業		
事業開始年度		担当部署	社会教育部スポーツ振興課

根拠法令	決裁
実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:)
	■その他(③は直営。①・②・④は(公財)枚方体育協会に委託)
目的 (何のために)	市民のスポーツ振興を図るため、各種スポーツ大会やレクリエーション事業等を実施し、市民の健康維持・体力増進とスポーツ活動を活性化すること。
対象 (誰・何を対象に)	市民

事業内容	①各種競技大会(総合体育大会)の運営を(公財)枚方体育協会に委託し、実施。 ②各レクリエーション活動を枚方レクリエーション協会へ委託し、実施。 ③市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図る。 ④ラグビーカーニバルを(公財)枚方体育協会に委託して実施。
類似事業	なし

事業の必要性	スポーツを通じて、市民の健康維持・体力増進を図るために必要である。
--------	-----------------------------------

コスト													
		H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算					
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費				
正職員		0.25	人	2,029	千円	0.25	人	2,023	千円	0.25	人	2,000	千円
	再任用職員	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
	非常勤職員等	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円	0.00	人	0	千円
人件費計(A)				2,029	千円			2,023	千円			2,000	千円
直接経費(B)				29,869	千円			30,136	千円			30,604	千円
総事業費(A+B)				31,898	千円			32,159	千円			32,604	千円

財源内訳											
		H22年度決算			H23年度決算			H24年度当初予算			
国庫支出金		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
府支出金		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
受益者負担 (使用料等)		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
その他		0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
一般財源		31,898	千円	32,159	千円	32,604	千円				

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容		金 額
	総合体育大会等開催委託料(体育協会)		28,296 千円
	レクリエーション事業等開催委託料(レクリエーション協会)		466 千円
	市内高校バレーボール大会開催経費(消耗品費38, 印刷製本費3)		41 千円
	ラグビーカーニバル開催委託料(体育協会)		1,333 千円

事務事業名	各種スポーツ大会等開催事業				
事業開始年度		担当部署	社会教育部スポーツ振興課		
活動実績	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
	① 各種大会等参加者数	人	27,702	28,044	28,044
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費 / 各種大会参加者数	円	1,151	1,147	1,163
	②				
	③				
成果目標 (目標とする成果)	各種競技大会、レクリエーション事業、高校バレーボール大会及びラグビーカーニバルに参加した人数				
比較参考値 (他自治体での事業の例など)	枚方市総合体育大会の各競技種目の代表チームが、北河内総合大会に出場できる。北河内総合体育大会の北河内各市、各競技種目の上位2チームが、大阪府総合体育大会に出場できる。総合体育大会は大阪府下各町村で実施され、北河内、中河内、南河内など7ブロックの代表チームが北河内ブロック同様大阪府総合体育大会へ派遣される。				
特記事項	高校バレーは、平成9年度のなみはや国体を契機として、平成10年度より市内高校(公立・私立)を対象に同競技の振興と青少年の健全育成、選手間の交流、選手の育成強化を目的に実施している。ラグビーカーニバルは、市制施行50周年を記念して初開催され、24年度に第16回目を迎えた。この間、全国高等学校ラグビー大会において市内高校(啓光学園・東海大仰星高校)が優勝7回と輝かしい成績を収め、「ラグビーのまち・ひらかた」を全国にPRしている。枚方レクリエーション協会は、平成11年にソフトバレーボール、インディアカ、3B体操、グラウンド・ゴルフの4団体で発足した。現在は、ソフトバレーボール、インディアカ、3B体操、ウォーキング協会の4団体で活動している。生涯スポーツの普及並びに振興のためスポーツレクリエーション活動を通じ、市民の健康・生きがいづくりのための施策を展開している。				
一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	引き続き事業を実施するなかで、市民ニーズや各事業の実施の必要性を勘案して、必要に応じて見直し等を行っていく。			
一次評価結果	・事業の選択と集中の視点が必要では				
二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	総合体育大会は競技スポーツ振興を、レクリエーション事業(市民ハイキング、市民ソフトバレーボール大会、市民インディアカ大会、親子3B体操、女性サイクリング教室)は気軽にスポーツに親しむ機会を創出するとともに、健康増進を目的としており、その内容はニーズを推し量ったうえで事業を展開している。また、高校バレーとラグビーカーニバルは特記事項に記載の目的から選択し、事業化したものであり、今後も継続的に取り組んでいく。今後も引き続き事業を実施するなかで、市民ニーズや各事業の実施の必要性を勘案して、必要に応じて見直し等を行っていく。			